

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆イラン混迷で資源高、日本の所得流出8兆円に 食品減税上回る規模

・米国とイスラエルによるイランとの軍事衝突が長引き、日本経済の先行き不透明感が増加。原油価格の上昇など資源高に伴う日本から海外への所得流出は年8兆円規模で増える見通し。ホルムズ海峡の事実上の封鎖で物流網が混乱し、戦闘終結が遅れるほど重荷となる。経済シンクタンクのちばぎん総合研究所が試算。

◆パナマ運河を通る石油7割増 アジア各国、中東代替で米国産シフト

・中米のパナマ運河を通る原油や石油製品の量が4月、2025年の平均から7割増。ホルムズ海峡の実質封鎖で中東産の輸入が減ったアジア各国が代わりに米国産の調達を急ぐ。運賃や通航料の上昇は石油の調達価格を押し上げ。欧州調査会社ケプラーによると4月にパナマ運河を通った原油と石油製品の量は日量177万バレルに達し13年以降で最高。

◆アゼルバイジャン産原油、12日にも日本に 中央アジア産代替調達は初

・ENEOSホールディングス(HD)はアゼルバイジャン産原油を積んだタンカーが12日にも日本に到着すると明らかにした。経済産業省によると、2月末に中東情勢が悪化して以降、中央アジア産の原油が日本に届くのは初めて。原油の供給不安が高まるなか、代替調達により安定供給を狙う。12日にも横浜市の根岸製油所に着く。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆クリナップ、27年3月期純利益2%増 高価格帯キッチン伸びる

・クリナップは2027年3月期の連結純利益が前期比2%増の35億円になる見通しだと発表。高価格帯のシステムキッチンの販売が伸びる。売上高は6%増の1420億円、営業利益は24%増の49億円を見込む。現状は中東情勢の影響を織り込んでいない。同日発表した26年3月期の連結決算は純利益が前の期比2倍の34億円。売上高は3%増の1344億円。

◆三井不や三菱地所、マンション引き渡し遅れる可能性通知 中東危機響く

・三井不動産や三菱地所などの不動産大手が建築資材の供給不安を受け、新築マンションの契約者に引き渡しが遅れる可能性について通知していることが分かった。中東情勢によるマンション販売への影響が表面化。三井不動産レジデンシャルは4月末、2027年8月下旬と28年4月下旬に入居が始まる契約者に対し、引き渡し遅延の可能性を通告。

◆照明器具本体に発火リスク、10年超使用で劣化 長寿LED普及で注意を

・照明器具の発火事故が相次いでいる。内部の劣化が要因で、10年を超えて使用した製品が大半だった。2027年に蛍光灯の製造が終了し、10年以上使える発光ダイオード(LED)ランプへの切り替えが進む。LED交換後、器具本体の劣化に気づかない恐れがあり注意が必要。

《 注目商品 》

■パロマ、ビルトインコンロの清掃性・利便性を向上 WITHNA(ウィズナ)

・丸ボタンの点火ボタンを搭載したスタイリッシュなビルトインコンロの同シリーズをモデルチェンジ。「ひろびろすっきりトップ」を全機種で採用。グリル排気口をアイランド構造とし、すっきりとさせることで清掃性や調理中の鍋の仮置きなどの利便性が向上。



■アイカ、高級人造石「フィオレストーン」に新柄2点を追加

・高級人造石の「フィオレストーン」に、天然石をモチーフにした新柄2点を追加し発売。天然石の風合いを保ちつつ、自然素材では難しい大板サイズでの提供が可能で、高い硬度と低い吸水性で傷や汚れに強くメンテナンス性に優れている。



■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。

